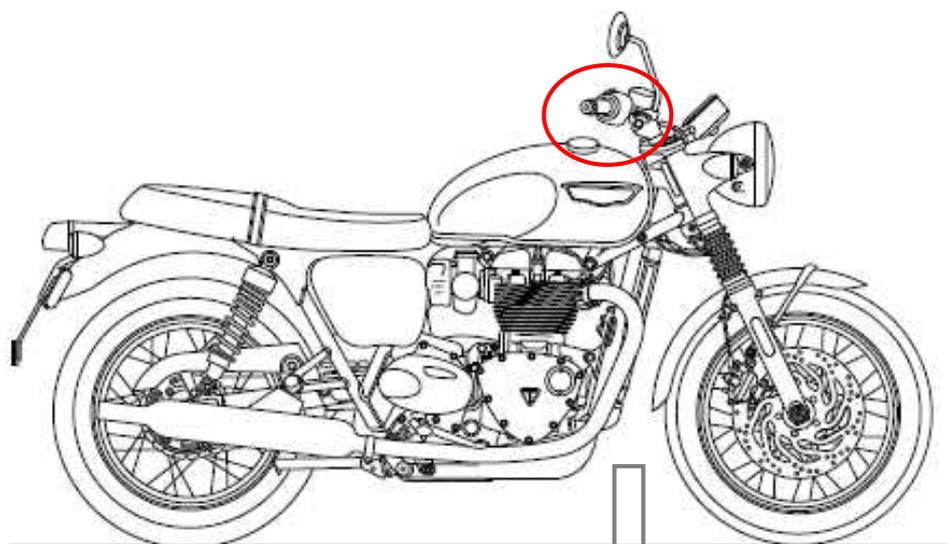
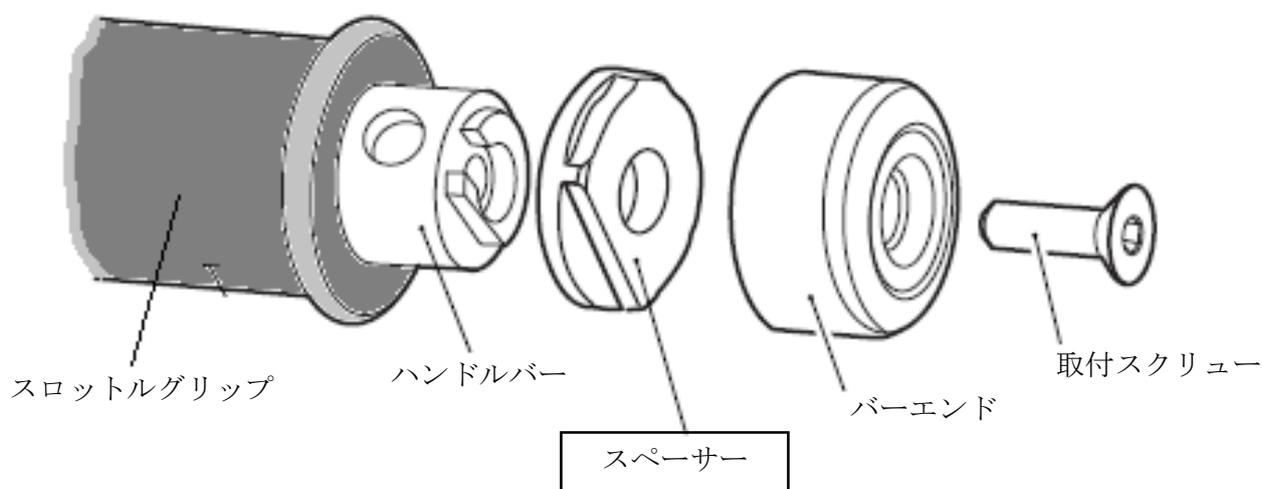


改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

注： は改善箇所を示す。



スロットルグリップとバーエンドの隙間が不足しているため、グリップヒーターを使用すると、スロットルグリップが熱膨張してバーエンドと接触することがある。そのため、スロットルグリップの動きが悪く、最悪の場合、スロットルグリップが自動で戻らず、エンジンの回転が下がらなくなるおそれがある。

改善の内容

全車両、ハンドルバーとバーエンドの間にスペーサーを追加する。